

3 千葉県実施概要（実施結果）

実施概要

千葉県では、新型コロナウイルス感染症の影響により、聖火ランナーの走行を取りやめ、各会場において点火セレモニーをはじめとする千葉県聖火フェスティバルを実施した。その概要は次のとおり。

各市町村における採火（市町村実施）

概要 要：東京2020パラリンピック聖火の元となる「市町村の火」を県内すべての市町村によって採火
期間 間：2021年6月30日（水）から8月18日（水）まで
会場 場：各市町村採火場所

聖火ビジット（市町村実施）

概要 要：「市町村の火」の展示：袖ヶ浦市、匝瑳市、九十九里町
「千葉県の火」の展示：東金市、匝瑳市
期間 間：2021年8月18日（水）出立式終了まで
会場 場：各市町実施会場

※各市町村が主催した採火、聖火ビジットでは、参加者の縮小や無観客で行うなどの感染症対策を実施

集火式

概要 要：各市町村が採火した「市町村の火」を一つに集め、「千葉県の火」とするセレモニー
期間 間：2021年8月18日（水）11:48～12:42
会場 場：市原スポレクパーク（市原市）
出席者・入場者：●各市町村・地域の代表者
●県、県議会、市原市、市原市議会代表者

※会場には囲いを設け、会場外から見えないようにするなどの感染症対策を講じた上で、無観客で実施

点火セレモニー・出立式

概要 要：聖火ランナーが、ステージ上でトーチに灯した「千葉県の火」をトーチキスにより聖火皿までつないでいく点火セレモニーと、県代表開催都市ランナーの出立宣言により「千葉県の火」を開催都市（東京都）に送り出す出立式を実施

期間 間：2021年8月18日（水）14:30～17:35
会場 場：千葉ポートタワー前広場（千葉市）

出席者・入場者：(1)聖火ランナー

- 聖火ランナー（130人が参加、うち県選考ランナーは53人）
- 県代表開催都市ランナー

(2)主催者等

- 東京2020組織委員会
- 県、県議会、千葉市、千葉市議会代表者
- スポンサー

(3)その他関係者

- 聖火ランナー家族・友人等（ランナー1人につき最大2人まで）
- 地域から聖火リレーを盛り上げる参加者（サポートランナー）
- メディア関係者

ライブ配信：点火セレモニー・出立式は次の媒体でライブ配信を実施

- 千葉県ホームページ
- NHKライブストリーミング

※聖火ランナーによるトーチキスは、感染症対策として、ランナーを3グループに分け、各ランナーが走行を予定していた区間ごとに実施

※会場には囲いを設け、会場外から見えないようにするなどの感染症対策を講じた上で、無観客で実施

採火式

各市町村における採火

「東京2020パラリンピック聖火」の元となる「市町村の火」が県内すべての市町村により採火された。採火は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、特別支援学校や障害者施設での採火、地域の伝統行事等での採火など、それぞれ独自の方法で実施。

なお、市町村によっては、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた内容を変更して行われた。

実施概要

市町村名	採火場所	採火方法
千葉市	特別史跡 加曽利貝塚	日本を代表する縄文時代の遺跡である「特別史跡 加曽利貝塚」において、地元子どもたちが弓切り式で火を起こし、「千葉県の火」を採火
銚子市	あおぞら三崎	障害者支援事業所「あおぞら三崎」の職員と地元ボーイスカウト銚子第3団が協力して火を起こし、市長が掲げるランタンに「銚子市共生の火」を採火
市川市	市川市役所	事前に地元子どもたちが、弓きり式やマイギリ式等で着火して種火を起こし、これを基に採火を行う予定であったが、市川市スポーツ推進委員により、キリモミ式で種火を起こし、これを基に「市川市の火」を採火
船橋市	船橋市役所	事前に市立船橋特別支援学校において、特別支援学校の生徒と市内の小学生が、マイギリ式で着火して種火を起こし、これを基に「船橋市の火」を採火
館山市	市立豊房小学校	地元の小学生が太陽光から着火して「館山市の火」を採火
木更津市	木更津市役所 駅前庁舎	千葉県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の清見台小学校オリパラ推進隊の児童が起こした火を種火とし、これを基に「木更津市の火」を採火
松戸市	松戸中央公園	事前に松戸市少年少女発明クラブの子どもたちが古式のひもぎり式で種火を起こし、これを基に「松戸市の火」として採火
野田市	野田市役所	事前に県立野田特別支援学校および福祉施設においてマイギリ式で種火を起こし、これを基に「野田市の火」を採火
茂原市	茂原市役所 市民広場	市の発展を支えた天然ガスを地元ガス事業者の協力のもと会場に用意し、太陽光をレンズで集光して起こした種火と合わせて「茂原市の火」を作成し、市民団体「パラスポーツ茂原」の代表者が採火
成田市	成田山新勝寺大本堂前	成田山新勝寺において、市内在住のパラスリットが燈明の火を用いて採火をする予定だったが、市職員により「成田市の火」を採火
佐倉市	佐倉市役所(玄関前)	事前に市内小学校の子どもたちが、マイギリ式で着火して種火を起こし、これを基に「佐倉市の火」を採火
東金市	県立東金特別支援学校	県立東金特別支援学校の生徒が火おこし器を使い、「東金市の火」を採火
旭市	旭スポーツの森公園	千葉県のオリンピック・パラリンピック教育推進校である市立第二中学校の生徒がマイギリ式で火を起こし、市長が掲げるランタンに集め「旭市の火」を採火
習志野市	習志野市総合福祉センター花の実園	2020年7月に習志野市へ降り注いだ「習志野隕石」に着想を得て、障害福祉サービス事業所「花の実園」において、「習志野市から宇宙の火を灯す」をコンセプトとし、隕石や灯台をモチーフに独自で作製した採火台に火を灯し、「習志野市の火」として採火
柏市	柏市役所(入口前)	2年連続で中止となった地域の夏の風物詩である「手賀沼花火大会」の思いを受け継いだ花火を、イギリス車いすテニス選手団の事前合宿地である(公財)吉田記念テニス研修センターで行い、その火を種火として「柏市の火」を採火
勝浦市	県立夷隅特別支援学校	県立夷隅特別支援学校で種火を起こして「夷隅地域の火」を作成し、これを基に採火

●市町村による採火の様子



千葉市



銚子市



市川市



船橋市



館山市



木更津市



松戸市



野田市



茂原市



成田市



東金市



旭市



習志野市



柏市



夷隅地域(勝浦市・いすみ市・大多喜町・御宿町)

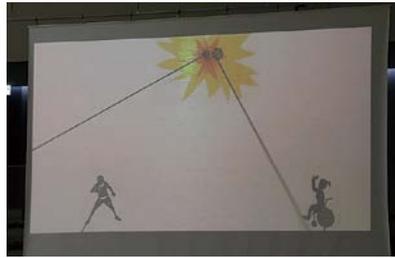
3 千葉県実施概要(実施結果)

市町村名	採火場所	採火方法
市原市	祇園原貝塚(国分寺中央公園)	市内の国分寺台東小学校、国分寺台西小学校の児童がユミギリ式で起こした火を令和2年度に市内で縄文貝塚の史跡として初めて指定された祇園原貝塚(国分寺中央公園)に集め、「市原市の火」として採火
流山市	キッコーマン アリーナ(流山市民総合体育館)	市民による影絵を上映し、劇中で演出により「流山市の火」を採火
八千代市	八千代市市民会館平和祈念碑前	八千代新川歴史まつり実行委員会により毎年開催されている祭りをモチーフに、開催場所の付近にある村上沖塚遺跡と関連付け、鍛冶炉から「八千代市の火」を採火
我孫子市	手賀沼公園	手賀沼公園にあるモニュメント「平和の灯」から、パラアスリートが「我孫子市の火」を採火
鴨川市	市立西条小学校	千葉県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の西条小学校において、児童がマイギリ式および火花式で着火して種火を起こし、市長が掲げるランタンに集め「鴨川市の火」を採火
鎌ケ谷市	鎌ケ谷市生涯学習推進センター	マイギリ式を用いて種火を起こし、「鎌ケ谷市の火」を採火
君津市	君津市役所	事前に市内の小・中学生がマイギリ式で種火を起こし、これを基に「君津市の火」を採火
富津市	富津市役所	市内の火力発電所の協力により、発電所で使用されている燃料(LNG:液化天然ガス)を用いて「富津市の火」を作成し、市長が採火
浦安市	東野地区複合福祉施設「東野パティオ」	市内のパラアスリートがマイギリ式で火を起こし、「浦安市の火」を採火
四街道市	四街道総合公園	市のレガシーであるガス灯通りのガス灯から採火を行う予定であったが、市選出のオリンピック聖火リレーサポートランナーがマイギリ式で種火を起こして、パラアスリートに火をつなぎ、「四街道市の火」を採火
袖ケ浦市	袖ケ浦市総合運動場	市内小学生にパラリンピックへの思いを絵に表してもらい、それらを集めて作成したパネルを背景に、小学生と中学生の代表者9人がマイギリ式により「袖ケ浦市の火」を採火
八街市	八街市スポーツプラザ	各参加団体の代表者が持ち寄ったライトを独自で作製した採火台に置き、1本のローソクに火を灯し「やちまたの火」として採火
印西市	印西市役所	事前に県立印旛特別支援学校の生徒の代表が、学習で作った竹炭により採った種火と、市内の障害者就労支援施設「いんば学舎・オソログ倶楽部」において、ピザ窯から採った種火を基に「印西市の火」を採火
白井市	白井市総合公園	パラリンピックへの想いをもちたさまざまな年代の市民がマイギリ式を用いて種火を起こし、「白井市の火」を採火
富里市	富里社会体育館2階アリーナ	コンセプトでもある「Share Your Light—あなたは、きっと、誰かの光だ。—」に向け、市内小・中学生と障害者支援施設としてスポーツや文化活動に積極的に取り組む富里福葉苑の代表者が集合し、グループで力を合わせてマイギリ式で火を起こし、市長が持つランタンに火を移し「富里未来の火」を採火
南房総市	南房総市富山多目的運動場	地元の少年野球チーム「岩井イーグルス」の子どもたちが協力し、太陽光およびマイギリ式等で「南房総市の火」を採火
匝瑳市	匝瑳市役所(正面玄関前)	事前に開催される地域伝統行事会場において、祭事式典で着火された火から種火を採り、これを基に「匝瑳市の火」を採火
香取市	香取市役所(駐車場)	地元の障害者が、マイギリ式で着火し、「香取市の火」を採火
山武市	山武市成東文化会館のぎくプラザ	市内の子どもたちがマイギリ式で起こした火を一つに集めて採火する予定だったが、市職員によりマイギリ式で「山武市の火」を採火
いすみ市	県立夷隅特別支援学校	県立夷隅特別支援学校で種火を起こして「夷隅地域の火」を作成し、これを基に採火

●市町村による採火の様子



市原市



流山市



八千代市



我孫子市



鴨川市



君津市



富津市



浦安市



四街道市



袖ヶ浦市



印西市



白井市



富里市



南房総市



匝瑳市



香取市



山武市

3 千葉県実施概要(実施結果)

市町村名	採火場所	採火方法
大網白里市	大網白里市役所	事前に地元の特別支援学校の生徒がマイギリ式で種火を起こし、これを基に「大網白里市の火」を採火
酒々井町	酒々井町役場	「酒々井おもてなしカレッジ」の子どもたちがマイギリ式で「酒々井町の火」を起こす予定だったが、町長、副町長、教育長によりパラリンピックへの想いが込められたキャンドルから「酒々井町の火」を採火
栄町	栄町役場(正面玄関前)	町のイメージキャラクター「龍夢(ドラム)」が1300年前の龍角寺の屋根瓦を焼いた窯と言われている「龍角寺五斗蒔瓦窯(リュウカクジゴトマキガヨウ)」から持ち帰って来た火を「栄町の火」として町長が掲げるランタンに採火
神崎町	神崎町役場	町内の児童が火起こしを行う予定だったが、町職員によりマイギリ式で「神崎町の火」を採火
多古町	多古町民体育館前	町内小学校の児童がスポーツ推進員とともに火おこし器で「多古町の火」を採火
東庄町	東庄町公民館	事前に開催する「ポッチャ体験会」において小学生が種火を起こし、これを基に「東庄町の火」を採火
九十九里町	九十九里町中央公民館	町内の硝子工芸事業者の炉から採火した「絶えることのない、永遠の火」を種火とし、これを基に「九十九里町の火」を採火
芝山町	芝山町福祉センター 「やすらぎの里」	福祉作業所に通う利用者が、マイギリ式で火を起こし、「芝山町の火」を採火
横芝光町	横芝光町役場	社会福祉法人横芝光町社会福祉協議会会長と町職員により「横芝光町の火」を採火
一宮町	一宮町役場	事前に種火を起こし、長生特別支援学校の生徒の思いを込めて作成した「長生特支の火」を基に「一宮町の火」を採火
睦沢町	睦沢町役場	共生社会の実現や多文化共生への願いを込めて、「睦沢町の火」を採火
長生村	就労支援事業所 「一松工房」	村内の障害者就労支援事業所において、就労施設で作業時に使用している火により「長生村の火」を採火
白子町	白子町役場(庁舎内)	事前に町の柔道教室の子どもたちがマイギリ式で着火して種火を起こし、これを基に「白子町の火」を採火
長柄町	長柄町役場	地元の子どもたちが太陽光で種火を起こし、これを基に採火を行う予定であったが、長柄町マスコットキャラクターにより「長柄町の火」を採火
長南町	長南町役場	「火おこし体験」において弓切り方式で着火した火から種火を採り、これを基に「長南町の火」を採火
大多喜町	県立夷隅特別支援学校	県立夷隅特別支援学校で種火を起こして「夷隅地域の火」を作成し、これを基に採火
御宿町	県立夷隅特別支援学校	県立夷隅特別支援学校で種火を起こして「夷隅地域の火」を作成し、これを基に採火
鋸南町	鋸南町役場	事前に開催される灯籠流しの会場において、みささぎ島に灯す火から種火を採り、これを基に採火を行う予定だったが、町職員がマイギリ式で種火を起こし、これを基に「鋸南町の火」を採火

●市町村による採火の様子



酒々井町



栄町



多古町



東庄町



九十九里町



芝山町



一宮町



白子町



長南町

聖火ビジット (「市町村の火」ビジット・「千葉県の火」ビジット)

各市町村がそれぞれの思いを込めて独自に採火した「市町村の火」や集火式を経て誕生した「千葉県の火」を、採火した施設や各市町村の施設等に展示。

「市町村の火」ビジット

市町村名	展示場所
袖ヶ浦市	袖ヶ浦市総合運動場
匝瑳市	匝瑳市役所正面玄関前
九十九里町	九十九里町中央公民館

「千葉県の火」ビジット

市町村名	展示場所
東金市	県立東金特別支援学校
匝瑳市	匝瑳市役所正面玄関前



九十九里町の展示



匝瑳市の展示



「千葉県の火」と県立東金特別支援学校の生徒

集火式

各市町村がそれぞれの思いを込めて採火した「市町村の火」を、県の中心部に位置する市原スポレクパーク(市原市)で一つに集め、「千葉県の火」とした。各市町村からはパラアスリート、障害者施設の関係者や市町村長等が代表となり、会場まで火を運び、登壇した。集火は、会場市の市原市が最初に集火台に点火した後、地域ごとに集火台に点火し、最後に点火セレモニー・出立式の会場市である千葉市が点火して、「千葉県の火」が誕生した。

実施概要

日 時：2021年8月18日(水) 11:48～12:42

会 場：市原スポレクパーク(市原市)

登壇者：千葉県知事 熊谷 俊人
 市原市長 小出 譲治
 千葉県議会議員 信田 光保
 千葉県議会議員 伊豆倉 雄太
 千葉県議会議員 鈴木 和宏
 千葉県議会議員 菊岡 たづ子

内 容：小出市原市長あいさつ

集火

- ①市原市
- ②葛南地域(船橋市、習志野市、八千代市、浦安市)
- ③東葛飾地域(野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市)
- ④印旛地域 (第1グループ 成田市、佐倉市、四街道市、八街市
 第2グループ 印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
 ※印旛地域は2グループに分けて実施)
- ⑤香取地域(香取市、神崎町、多古町、東庄町)
- ⑥海匝地域(銚子市、旭市、匝瑳市)
- ⑦山武地域(東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町)
- ⑧長生地域(茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町)
- ⑨夷隅地域(勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町)
- ⑩安房地域(館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町)
- ⑪君津地域(木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市)
- ⑫市川市、松戸市
- ⑬千葉市

熊谷知事あいさつ

信田県議会議員あいさつ

会場レイアウト



● 集火式に参加した各地域の代表者(敬称略)



①市原市

市原市 小出 謙治(市原市長)



②葛南地域

船橋市 蛭沢 文子(パラアスリート)
 習志野市 久松 弘幸(障害福祉サービス事業所「花の実園」利用者)
 八千代市 新谷 雄一(パラアスリート)
 浦安市 橋 龍平(車いすテニスジュニアアスリート)



③東葛飾地域

野田市 花立 徹(野田市企画調整課)
 柏市 黒須 美浩(柏市スポーツ課長)
 流山市 岸田 美知子(ボランティア団体「おはなしくれよん」代表)
 我孫子市 上村 温(パラアスリート)
 鎌ヶ谷市 小池 誠(鎌ヶ谷市生涯学習推進課)



④印旛地域(第1グループ)

成田市 出山 耕一(成田市スポーツ振興課長)
 佐倉市 鈴木 研悟(佐倉市地域創生課長)
 四街道市 府川 雅司(四街道市教育長)
 八街市 長谷川 正幸(八街市地域自立支援協議会会長)



④印旛地域(第2グループ)

印西市 板倉 正直(印西市長)
 白井市 笠井 喜久雄(白井市長)
 富里市 飯田 之義(富里市生涯学習課長)
 酒々井町 小坂 泰久(酒々井町長)
 栄町 藤村 勉(栄町体育協会会長)

点火棒と集火台

採火式や集火式でランタン等に火を移すために使う「点火棒」は、県立市川工業高校の生徒がデザインしたもの。集火台は点火棒のデザインに合わせてつくられた。



3 千葉県実施概要(実施結果)



⑤香取地域

香取市 宇井 成一(香取市長)
 神崎町 椿 等(神崎町長)
 多古町 山本 京子(パラアスリート)
 東庄町 岩田 利雄(東庄町長)



⑥海匠地域

銚子市 田中 博久(障害者支援事業所「あおぞら三崎」顧問)
 旭市 米本 弥一郎(旭市長)
 匝瑳市 太田 安規(匝瑳市長)



⑦山武地域

東金市 鹿間 陸郎(東金市長)
 山武市 松下 浩明(山武市長)
 大網白里市 金坂 昌典(大網白里市長)
 九十九里町 鈴木 浩光(九十九里町副町長)
 芝山町 竹之内 健介(芝山町総務課)
 横芝光町 佐藤 晴彦(横芝光町長)



⑧長生地域

茂原市 井上 英樹(パラスポーツ茂原幹事長)
 一宮町 中村 照夫(一宮町障害者福祉社会会長)
 睦沢町 田中 憲一(睦沢町長)
 長生村 小高 陽一(長生村長)
 白子町 藤井 大輔(白子町少年柔道教室指導者)
 長柄町 清田 勝利(長柄町長)
 長南町 平野 貞夫(長南町長)



⑨夷隅地域

勝浦市・いすみ市・大多喜町・御宿町
 關 隆行(県立夷隅特別支援学校校長)



⑩安房地域

館山市 宮澤 知幸(館山市スポーツ課長)
 鴨川市 長谷川 孝夫(鴨川市長)
 南房総市 加藤 勉(南房総市生涯学習課長)
 鋸南町 安田 隆博(鋸南町地域振興課長)



⑪君津地域

木更津市 渡辺 芳邦(木更津市長)
 君津市 堤 里桜(君津市立周西南中学校)
 富津市 高橋 恭市(富津市長)
 袖ヶ浦市 粕谷 智浩(袖ヶ浦市長)



⑫市川市・松戸市

市川市 清水 輝和(市川市スポーツ協会会長)
 松戸市 伊藤 暢祐(日本大学松戸学学部)



⑬千葉市

千葉市 鈴木 達也(千葉市副市長(右)と「千葉県の火」の誕生を祝う登壇者
 (左から)伊豆倉県議会議員、鈴木県議会議員、熊谷知事、信田県議会議員、菊岡県議会議員

会場の様子



集火式ステージ



ステージから見た会場



関係者用テント



車いす用のリフトを設置



「市町村の火」を管理する担当者



登壇者への事前説明

点火棒デザイン



デザイン考案者
 県立市川工業高校インテリア科
 いしかわ なお
 石川楠桜さん

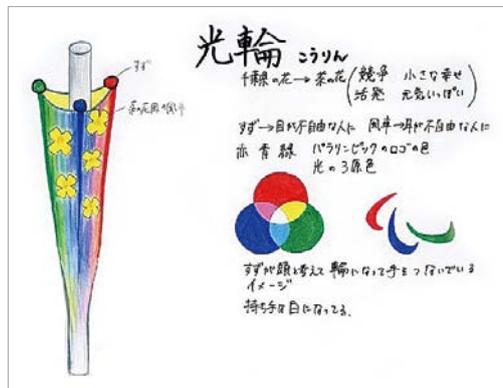
鮮やかな光の3原色に包まれ、 そよぐ「菜の花」と 響く鈴の音

(左から)金子教諭、上條ひなたさん、石川さん、望月真綾さん



インテリアデザイン部 金子裕行教諭
 「生徒たちはパラリンピックとは何かを調べてから、デザインを進めました。日頃から生徒たちには、何かをデザインするときは、まず調べることが大事であると伝えていきます。石川さんのデザイン案はコンセプトがしっかりしていました。今回の経験を社会に出てからも活かしてほしいです。」

石川さんのデザイン画



千葉県の聖火フェスティバルで使用される点火棒は、県立市川工業高校インテリア科の生徒6人によるデザイン案の中から、石川楠桜さん=当時2年生=の「光輪」が採用された。

石川さんはパラリンピック聖火リレーのコンセプト「あなたは、きっと、誰かの光だ。」から「光」に着目。「光の3原色」は赤、青、緑でパラリンピックのシンボルマーク、スリーアギトスと同じ色だったことから、点火棒の3辺の色を赤、青、緑にした。

デザインは共生社会を意識し、3人が手をつないで輪になっているところをイメージした。また、側面に付けた県の花である「菜の花」をモチーフとした風車が回るなど、目で楽しめる工夫をする一方、視覚障害者のことを考え、手をつないだ3人の頭に見立てた鈴から音が鳴るようにした。

このデザインやアイデアが、千葉県が選考していたパラリンピックの聖火ランナー候補者や千葉リハビリテーションセンター(愛育園・更生園)の利用者、千葉県子ども病院に入院している子どもたちへのアンケートでトップの支持を受けた。

石川さんは、このアイデアを具体的な形にするため、「光の3原色」をつなぐ中間色の色合いや鈴をきれいに響かせる工夫、風車がよく回る取り付け方など何度も専門家と話し合いを行った。

聖火フェスティバル当日はコロナ禍で参加できなかったが、「テレビで集火式を見て、私がデザインした点火棒が使われているのを見て感激しました。風車がうまく回るか心配したけれど、大丈夫だったと聞いてうれしかった」と話した。

さらに、「今回、パラリンピックについて調べることで、それまで障害のある方は大変だという思いだけでしたが、それ以上に一生懸命努力されていることが分かりました。将来は建築士になり、バリアフリーなど身の回りの空間を改善していくことで人の役に立ちたいです」と認識を新たに現在の思いを語った。

点火セレモニー・出立式

実施概要

日 時：2021年8月18日(水) 14:30～17:35

会 場：千葉ポートタワー前広場(千葉市)

聖火ランナー：130人が参加(うち県選考ランナーは53人)

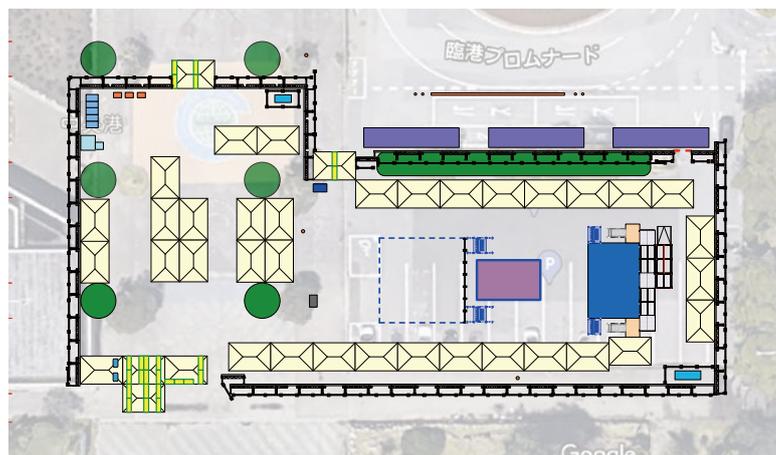
グループ	各ランナーが走行を予定していた区間	ランナー数
第1グループ	1区間	16
	2区間	34
第2グループ	3区間	19
	4区間	16
第3グループ	5区間	45
計		130

登壇者：千葉県知事 熊谷 俊人 千葉県議会議員 網中 肇
 千葉県副知事 滝川 伸輔 千葉市長 神谷 俊一
 千葉県議会議長 信田 光保 千葉市議会議長 川村 博章
 千葉県議会議員 本間 進 開催都市ランナー 花岡 伸和
 千葉県議会議員 佐野 彰

点火セレモニー：司会者登場・あいさつ／登壇者紹介
 内容 サポートランナーによるトーチへの点火
 聖火ランナーによるトーチキス・フォトセッション
 最終聖火ランナーによる聖火皿への点火
 最終聖火ランナーインタビュー
 フォトセッション

出立式：開催都市ランナーのトーチへの点火
 内容 開催都市ランナーによる出立宣言
 開催都市ランナーインタビュー
 熊谷知事あいさつ
 信田県議会議長あいさつ
 神谷千葉市長あいさつ
 フォトセッション

会場レイアウト



点火セレモニー

130人の聖火ランナーが登場し、この日はじめて出会った3人が1組となり、トーチに灯した「千葉県の火」を聖火皿までつないだ。チームとなった聖火ランナーはトーチキスでそろったポーズを決めるなど、協力しながら笑顔でパフォーマンスを披露した。また、千葉県独自の取り組みとして、サポートランナーが各グループ最初のランナーのトーチに点火した。

第1グループ



サポートランナー(右)から「千葉県の火」を受ける1区間最初のランナー(左)

1区間



山下一史さん
松丸夏海さん
Takaさん



尾形玲子さん
中野裕介さん
須賀瑛里加さん



生駒三男さん
Barbero Corradoさん
金子大樹さん



表光代さん
徳倉亞依さん



北田凌大さん
久保浩一郎さん
藤崎由美さん



第1グループ1区間のフォトセッション



荻野晃一さん
小林愛子さん



第1グループ1区間のフォトセッション



山田育生さん
金子淳一郎さん



第1グループ2区間のフォトセッション



小西貴美子さん
長木晴都さん



1区間のサポートランナーとして走行予定だった
千葉市立特別支援学校の皆さん



やましたかずふみ
山下一史さん

1区間最初の聖火ランナー

千葉交響楽団の音楽監督

「おらがまちのオーケストラ」をスローガンに定期公演実施のほか県内学校での音楽鑑賞教室等を開催

少し緊張しましたが、火をつないでいくという象徴的な作業は、やってみるととても意義深いものだと思います。

僕は千葉交響楽団で音楽監督をやっています。音楽で何ができるだろうかと考えたとき、さまざまな障害がある方々と音楽を通してつながることができる、これこそが音楽の大きな役割だと感じています。聖火ランナーの大役を経験して、その思いを非常に強く、そして新たにしました。

3 千葉県実施概要(実施結果)

2区間



榑原俊輝さん
碓野一彦さん
ヒデくんさん



佐藤詠さん
青木和子さん
森山加奈子さん



平川弘隆さん
廣林恭子さん
ヒーローさん



澤瀬哲雄さん
山田裕也さん
長佑多朗さん



第1グループ2区間のフォトセッション



塩家吹雪さん
宮崎まゆ子さん
北本理子さん



第1グループ2区間のフォトセッション



柴田幸子さん
中野志保さん
なおちゃんさん



高田晃一さん
澤田健太さん
築久憲さん



立石アルファ裕一さん
丸山淳さん
Jさん



土肥美木子さん
山本多絵子さん
鈴木大子さん



ドテちゃんさん
鍛冶島彩さん(アップアップガールズ(2))
けんちゃんさん

会場の様子



千葉市のランドマーク「千葉ポートタワー」は高さ125m



会場に到着したランナー



ステージを見守るランナーの家族や友人



ステージ上でさまざまなポーズを披露するランナー

3 千葉県実施概要(実施結果)

第2グループ



サポートランナー(右)から「千葉県の火」を受ける3区間最初のランナー(左)

3区間



櫻井大斗さん
松村大樹さん
小林聖翼さん



三好里奈さん
富田健一さん
Voong Bensonさん



第2グループ3区間のフォトセッション



羽村太雅さん
ゲルン・エカテリーナさん



3区間を走行予定だったサポートランナーの農福連携施設の皆さん



【グループランナー】LIXIL 復興チーム
相田定喜さん、赤津立一さん、石上暁彦さん、喜多大悟さん
佐藤公彦さん、柴達士さん、田中直也さん、西尾寿方さん



千葉ポートタワーを背景に写真に納まるランナー



三富詩花さん
比嘉幸恵さん
真田千夏さん



第2グループ3区間のフォトセッション

コレクションポイント(ランナー集合場所)の様子

会場：千葉ポートアリーナ(千葉市)



フロア全体を活用



点火セレモニーでチームとなったランナー



取材に備え打合せをするランナー



取材を受けるランナーと寄り添う盲導犬



説明を受けるランナーの皆さん



ポーズを決めるランナー

3 千葉県実施概要(実施結果)

4区間



前田健司さん
山本達夫さん



第2グループ4区間のフォトセッション



緑川和浩さん
市川綱己さん
越智孝一さん



米澤諒さん
安部弘規さん
金子真也さん



范萱玟さん
上崎俊哉さん
新井真由美さん



吉岡秀明さん
岸川由佳さん
井手芳美さん



第2グループ4区間のフォトセッション



渡邊紫帆さん
城殿恵さん

第3グループ



サポートランナー(右)から「千葉県の火」を受ける5区間最初のランナー(左)

5区間



トーチキスの様子

【グループランナー】千葉ホークス
池田紘平さん、植木隆人さん、神田元春さん、杉山浩さん
添田智恵さん、田中恒一さん、村上慶太さん、山口健二さん



5区間を走行予定だったサポートランナーの
千葉県特例子会社連絡会の皆さん



第3グループ5区間のフォトセッション

聖火ランナー代表インタビュー



千葉ホークス

5区間グループランナー

千葉市に拠点を置き、日本選手権優勝などの実績を誇る車いすバスケットボールチーム

やま ぐち けん じ

山口健二さん(前列右)

「千葉ホークス」キャプテン

Q.セレモニーに参加するに当たって、皆さんでどんな話をしましたか?

とにかく盛り上げて、パラリンピックをみんなに楽しんでもらえるようにしよう、ということは決めていました。

Q.どんなメッセージを伝えたいですか?

障害者スポーツをあまり知らない方や、実際に見たことのない方に、選手たちの可能性や障害に対する理解などが、ポジティブな意味で伝わればいいなと思っています。

すぎ やま ひろし

杉山浩さん(前列中央)

元千葉ホークス選手、1996年アトランタパラリンピック出場

Q.大役を終えていかがですか?

僕自身は日本代表の経験もあって、今まではいろいろな方に応援してもらった立場でしたが、今回は一県民として、元選手として一生懸命応援したいという気持ちが非常に強かったです。

Q.3人でトーチをつないだ感想は?

まさにパラリンピックが「つなぐ」ものですね。健全者、障害者に関係なく、みんなで一緒にスポーツするという目標を感じました。

た なか つね かず

田中恒一さん(前列左)

「千葉ホークス」代表

Q.車いすバスケットボールの魅力は?

スピード感や車いすバスケット独自の動きもそうですが、車いす同士の接触を見てスタンディング(立位)のバスケットボールと比べると、その激しさがもっともと分かります。

Q.千葉ホークスの魅力は?

千葉ホークスは、パラリンピックで必ず1~3人の選手が日本代表に入るチームです。今日ここにいる選手の中にも次のパリ大会を目指せる選手がいます。千葉県には「千葉ホークス」というチームがあることを知っていただきつつ、一緒に車いすバスケットボールを応援していただけたらと思います。



浅野恵美さん
木村勇介さん
攝待卓さん



天野恵子さん
木原青さん
高田樹さん



入江恵理子さん
菅野未和子さん
村田垂矢香さん



村島靖基さん
村田浩幸さん



栗原貴光さん
結城隆さん
飯島空輝さん



小松晋一さん
加納慎太郎さん
大石晃大さん



第3グループ5区間のフォトセッション



3 千葉県実施概要(実施結果)



第3グループ5区間のフォトセッション



處裕子さん
田中宏知さん



野崎雅貴さん
廣政緩子さん
澤畑菜々子さん



國分琢磨さん
相楽徹さん
小川観南さん



日色昭浩さん
近咲子さん
町中尚子さん



第3グループ5区間のフォトセッション

点火皿への 点火



聖火皿に「千葉県の火」を灯す千葉県最終ランナー「学生団体おりがみと特別支援学校の生徒・卒業生の交流団体」の皆さん



【グループランナー】

学生団体おりがみと特別支援学校の生徒・卒業生の交流団体
都築政憲さん、島貫朱生さん、高山尚也さん
山本優羽さん、栗田葵さん、鈴木来聖さん
高橋羽音さん、中山美穂さん、宮負朋基さん

聖火ランナー代表インタビュー



つづき まさ のり 都築政憲さん

5区間最終聖火ランナー(グループランナー)

「学生団体おりがみと特別支援学校の生徒・卒業生の交流団体」
代表者

Q. 点火セレモニーを終えた感想は？

特別支援学校の子供たちと大学生が一つの場所で一つの炎を灯す、という体験を通してすごく感銘を受けました。このような瞬間をつくることを目指してきたので、ここまで来られて良かったなと思いました。

学生団体おりがみでは、大学生と特別支援学校の中学生、高校生がパラリンピックをきっかけに友達になろうという活動「パラコネクトプロジェクト」に取り組んでいます。みんなで生きる、みんなが生きるという活動方針を掲げ、交流して仲を深めたり、みんなが活躍できるイベントを行っています。

この活動はパラリンピックとリンクする部分があり、最後にみんなで点火する機会をいただけてすごく良かったです。チームワークは最高でした。楽しかったです。

3 千葉県実施概要(実施結果)

出立式

点火セレモニーで聖火皿までつながれた「千葉県の火」は、熊谷知事から県代表開催都市ランナーの花岡伸和さんが持つトーチに灯された。花岡さんはトーチを掲げ、力強く出立宣言を行い、開催都市である東京都に「千葉県の火」を送り出した。



「この大切な火を開催地の東京に届けます」と宣言した後、「千葉県の火」を灯したランタンを持つ花岡さん(中央)と登壇者(左から)佐野県議会議員、川村千葉市議会議員、本間県議会議員、網中県議会議員、信田県議会議員、熊谷知事、神谷千葉市長



熊谷知事から花岡さんに託された「千葉県の火」



胸に手を当てて、大会の無事を祈る花岡さん

県代表開催都市ランナーインタビュー

はな おか のぶ かず

花岡伸和さん

(一社)日本パラ陸上競技連盟副理事長、千葉県教育委員

2004年アテネパラリンピック、

2012年ロンドンパラリンピックの車いすマラソン代表

Q. 県代表開催都市ランナーに選ばれた感想は?

競技を引退しアスリートでなくなっても大会に関わらせていただけることに喜びを感じました。

Q. 都内の点火セレモニーで印象に残ったことは?

全国で灯された火が、それぞれの想いを持った多くの人々の手でつながれたことは、我々は世界をもっとより良い場所にできるという証しになると感じました。

Q. 東京2020パラリンピックの感想は?

主役の一人である「観客」がいなかったことは完成された大会では無かったと思います。それでも自分の国でパラリンピックが開催されたこと、立ち会えたことはパラリンピアンとして最も幸せな時間でした。しかし、レガシーは何もしなければ遺りませんので、大会は閉幕しても東京2020パラリンピックは続いている、次世代に受け継いでこそそのオリパラであると考えています。

Q. ご自身の多様な活動を通して、伝えたいメッセージとは?

オリパラ教育は子ども達に「世界はカラフルな違いによってできている」ことを伝える最高のチャンスでした。大会後も継続し、違っているからこそ人間は役割を持ち他者と協力して生きていくことでここまで繁栄してきた、違いを認め合い役割を認め合うことは人間として生きていくために最も大切なことだと伝えていきたいです。

開催都市（東京都）内の聖火イベント

2021年8月20日、開催都市の東京都で集火式が行われ、千葉県をはじめ国内各地やイギリスのストック・マンデビルで採火された火が一つとなり、「東京2020パラリンピック聖火」が誕生した。8月21日から24日にかけて、東京都内で聖火リレー（点火セレモニー）が実施された。



迎賓館赤坂離宮（東京都港区）で行われた集火式



東京都内の点火セレモニーで聖火をつなぐ花岡さん(左)



8月24日、東京2020パラリンピックの開会式で聖火台に灯され、燃え上がる聖火

